

# HCM-F 10.X ライセンスと HLM ワークフローの設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料は Cisco HCM 達成 ( HCM-F ) プラットフォームのスタンドアロン Javaアプリケーションとして動作する HCS License Manager ( HLM ) を記述したものです。それは Unified Communication ( UC ) アプリケーションおよび Prime License Manager ( PLM ) と責任がある配置モードを変更するために取出し、/プロビジョニングする相互に作用することである HCM-F サービス インフラストラクチャおよびメッセージ フレームワークを利用します。それは PLM 相互対話のための UC アプリケーションおよび描写的な状態転送 ( 他 ) と相互に作用するためにシンプル オブジェクト アクセスポトocol ( 石鹼 ) API を利用します。

## 前提条件

### 要件

Cisco は Hosted Collaboration ソリューション ( HCS ) 配備のナレッジがあることを推奨します。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- HCM-F バージョン 10.6.1
- PLM バージョン 10.X

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 背景説明

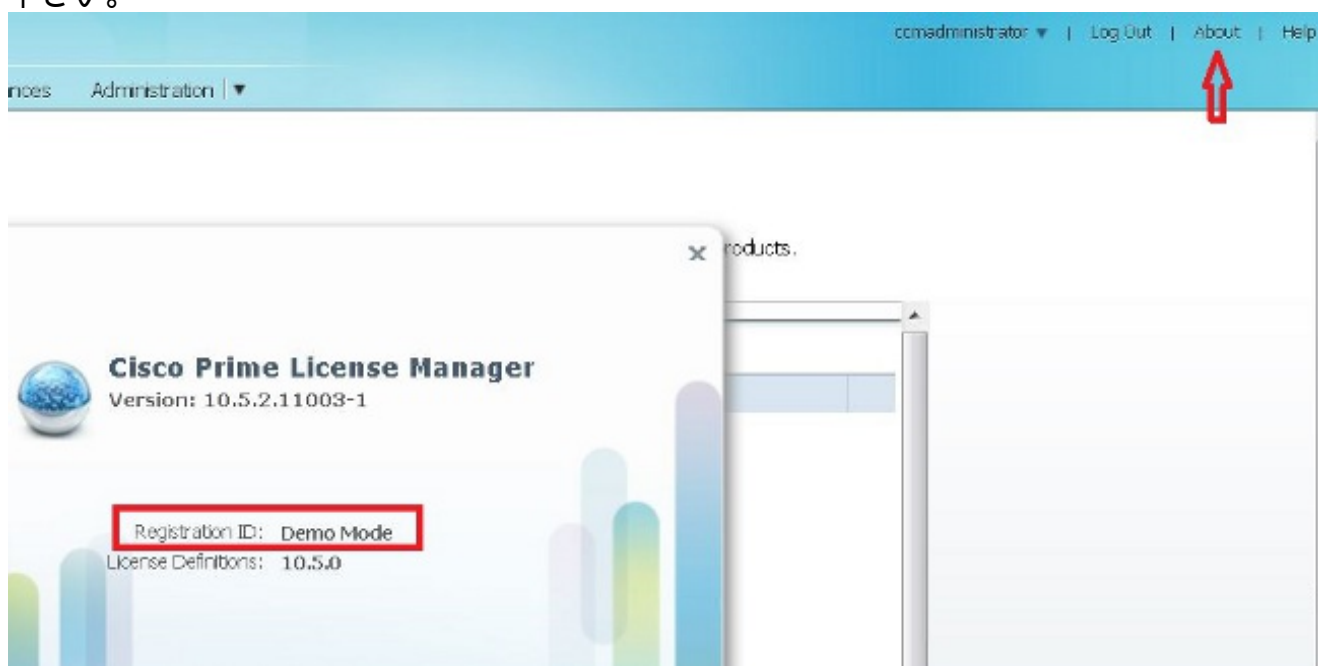
HCS 配備では、スタンドアロン PLM 例だけサポートされます。 Cisco Unified Communications

Manager ( CUCM ) との共存する PLMs または CUCxn は HCS ライセンスの管理のためにサポートされません。 各々のスタンドアロン PLM は各クラスタのユーザの数に関係なく 1000 の UC アプリケーション クラスタまでライセンスをサポートします。 前の企業 License Manager ( ELM ) は 200 までのクラスタをサポートしました。 サービスプロバイダーは HCM-F の多重 PLMs がある場合があります。

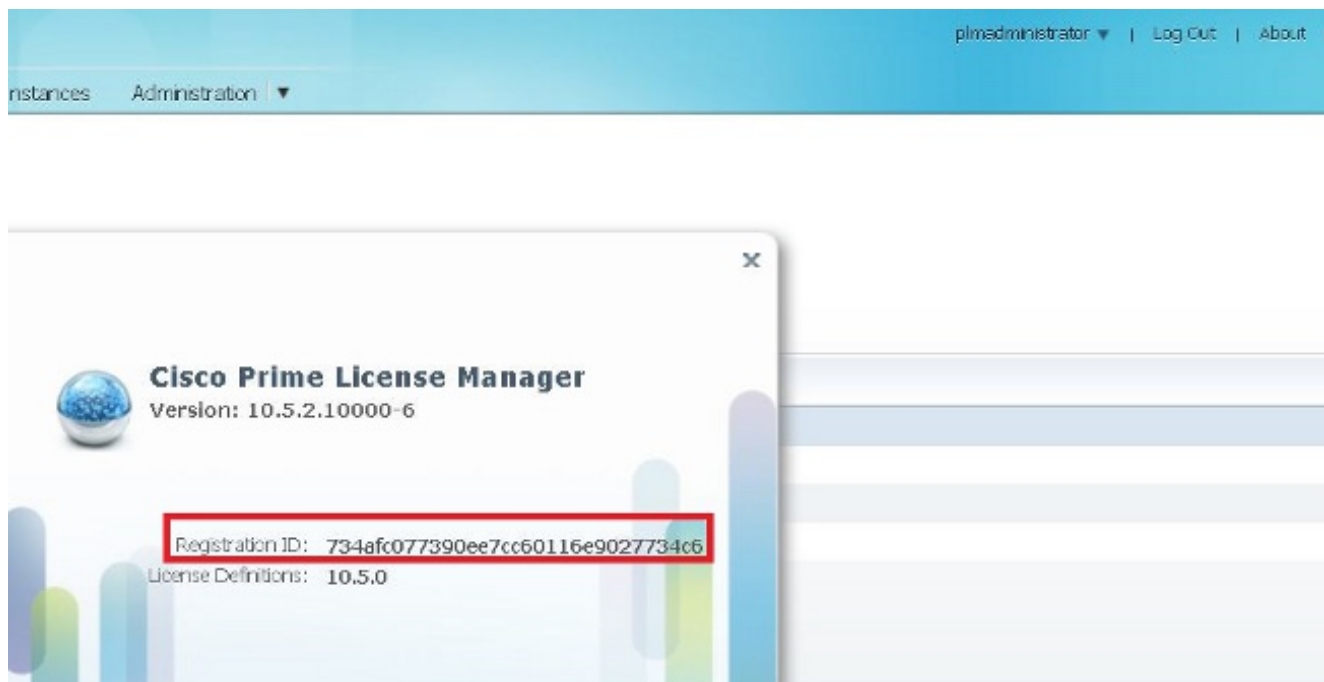
## 設定

注: このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

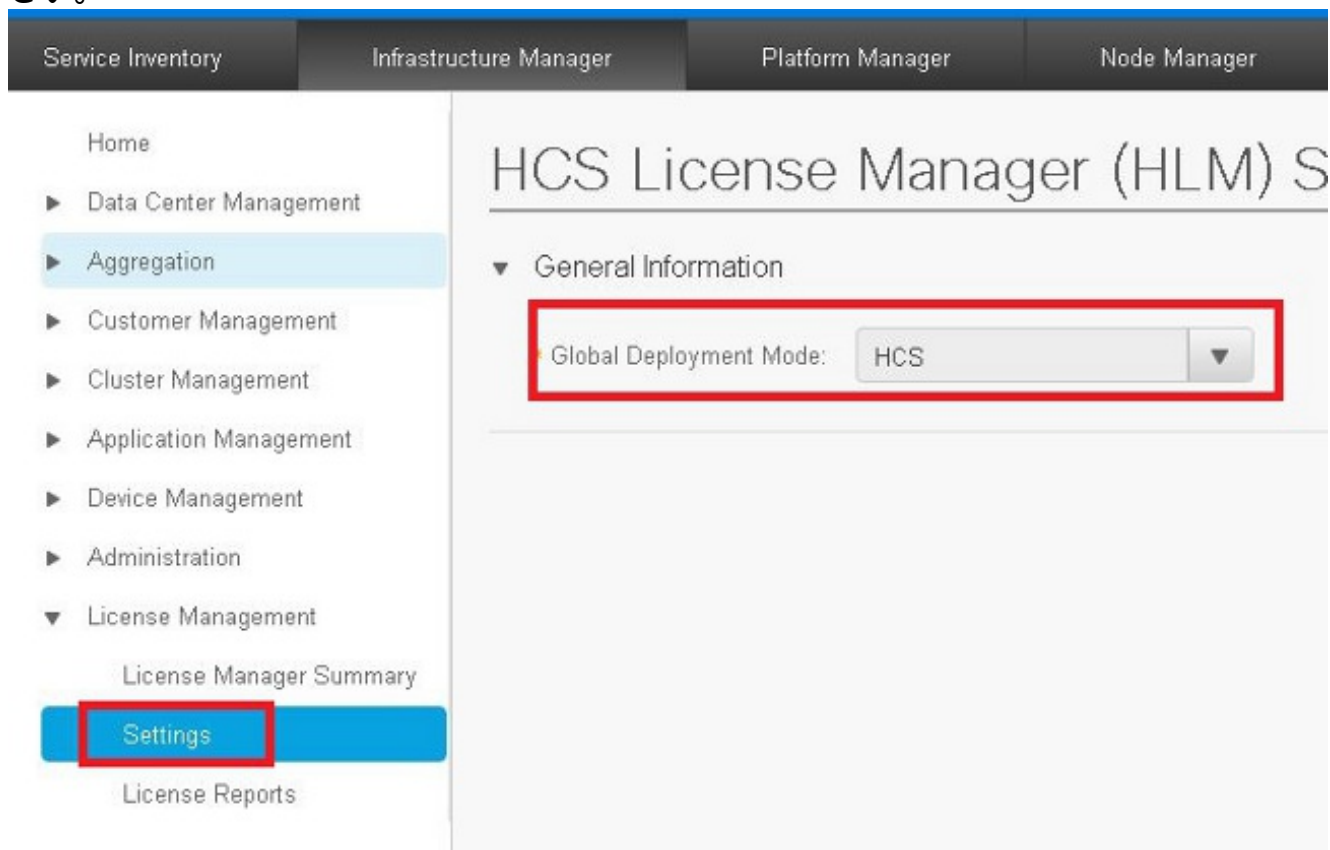
1. PLM は最初にインストールされているときデモモードで動作し、HLM に追加することができません。 PLM がデモモードにあるかどうか確認するために、『About』 をクリックして下さい。



2. HCMF に後者を追加することを可能にするように、少なくとも 1 HCS ライセンスを追加すればデモモードから PLM を奪取します。 このイメージに示すように、PLM がデモモードで動作しないかどうか確認する方法を。



3. HCM-F で、グローバル な配置モード ドロップダウン リストから配置モードを選択して下さい。



注: 配置モードは PLM に先にインストールされるライセンス タイプと HCM-F でそれに応じて設定 する必要があります。

4. HCM-F に PLM を追加して下さい。

名前- PLN 名前ホスト名- PLM IP アドレスか完全修飾ドメイン名 ( FQDN ) ユーザ ID - PLM OS 管理者ユーザパスワード- PLM OS 管理者パスワード注: すぐに PLM が追加されると同時に、PLM パスワードは HCM-F GUI でもう変更することができません。この機能は未来 HCM-F のリリースで導入され、PLM 側のどのパスワード変更でも HCM-F の統合を壊します。この作業の流れは PLM が追加されるとすぐ開始します:HLM は PLM の接続を検証します。OS 管理者ユーザー ID の接続は HTTPS、ポート 8443 およびサービスプロバイダの IP でのパスワード確立されます。HLM は正しい API を呼び出し、バージョンをそれに応じて設定するために PLM バージョンをチェックします。HLM は PLM 配置モードを設定します。PLM は 200 OK でモードがそれに応じて変更されるかどうか答えます。PLM 配置モードが HCS モードにあるかどうか確認するために、ブラウザでこの URL を入力して下さい: <https://plmServerHostname/elm-resources> PLM はこのイメージに示すように現在の配置モードと、答えます。

```
--<sysData>
  <lastSyncTime>2015-10-15T00:30:57.406+02:00</lastSyncTime>
  <licenseViolations>0</licenseViolations>
  <mode>HCS</mode>
  <productsCount>2</productsCount>
  <registrationId>734afc077390ee7cc60116e9027734c6</registrationId>
  <version>10.5.2.10000-6 </version>
</sysData>
```

5. HCM-F の PLM に UC アプリケーション クラスタを割り当てて下さい。サマリ License Manager の正しい PLM があるようにチェックボックスを確認して下さい。

CISCO

Service Inventory Infrastructure Manager Platform Manager Node Manager

Home

- Data Center Management
- Aggregation
- Customer Management
- Cluster Management
- Application Management
- Device Management
- Administration
- License Management
  - License Manager Summary
  - Settings
  - License Reports

## License Managers

Add New Refresh Delete Selected

<input type="checkbox"/>	Name	Host Name	Version
Filters No filter applied			
<input type="checkbox"/>	PLM-HCS	10.48.55.3 2	10.5
<input type="checkbox"/>	PLM2	10.48.55.1 5	10.0

6. 割り当てますをクリックして下さい。

Service Inventory Infrastructure Manager Platform Manager Node Manager

Home

- Data Center Management
- Aggregation
- Customer Management
- Cluster Management
- Application Management
- Device Management
- Administration
- License Management
  - License Manager Summary
  - Settings
  - License Reports

## Edit License Manager - PLM2

▼ General Information

★ Name:

★ Hostname:

Version:

Cluster Capacity:

Available Cluster Capacity:

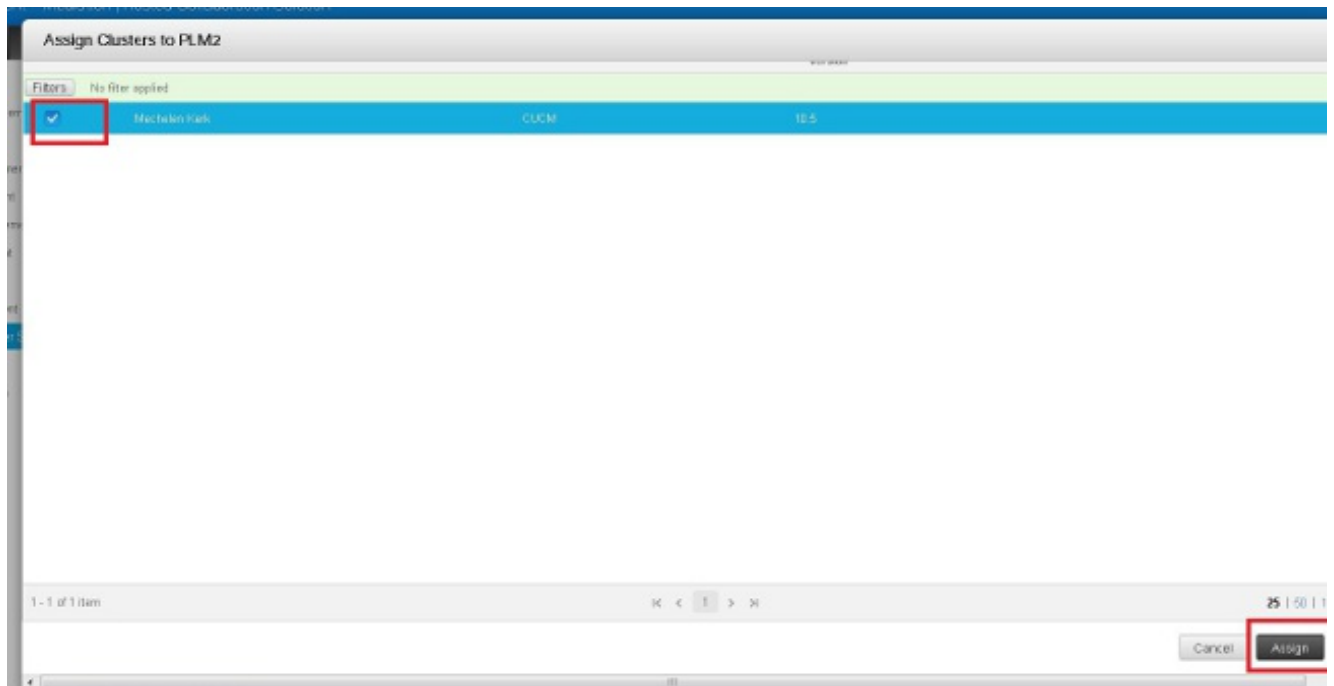
User ID:

▼ Clusters Managed by PLM2

**Note:** Assigning or unassigning a cluster will cause the publisher node to restart automatically.

<input type="checkbox"/>	Name	Cluster Type	Cluster Application	Version
Filters No filter applied				
0 item				

適格なクラスタはポップアップ ウィンドウに現われます。チェックボックスをクラスタがあるように確認し、割り当てますをクリックして下さい。



注: クラスタが HCM-F の ELM に割り当てられた後、アプリケーションはリポートされます。

HCM-F によって PLM にクラスタを割り当てるが詳しい HLM 作業の流れは、次のとおりです:

1. HLM はクラスタが ELM に割り当てられる資格があるかどうか確認します。
2. PLM はクラスタが PLM に追加されることができかどうか確認します ( パブ サーバの CUCM クラスタおよび CUC クラスタだけ PLM に追加することができます )。
3. HLM は UC アプリケーション Web 導入サービスに一定配置モードを送ります。
4. HLM はモードが正しく設定されたことを確認するために得配備を送信します。
5. HLM は再起動 要求を送信します。
6. HLM は UC アプリケーションを「頼む 5 分ポーリング モードにです」完全な再始動入ります。
7. UC アプリケーションは HLM タイムアウトの前に 40 分程、かかることができます。
8. UC アプリケーションが「完全な」再始動と応答したら HLM 送信 1 はもっと「モードを確認するために配置モード」を得ます。
9. HLM は PLM に強制するために今要求を追加しますクラスタを送信します。
10. 4 時間毎に、UC アプリケーションが PLM と HCM-F 間で同期外れであるかどうか見る HLM 監査 工程監査。

注: ステップ 5. HLM による UC アプリケーション リポートによってはサービスによって UC アプリケーションが提供し、IP を UC アプリケーション OS 管理者ユーザ/パスワードによってリポートしますクラスタを接触します。

- ▶ Data Center Management
- ▶ Aggregation
- ▶ Customer Management
- ▶ Cluster Management
- ▼ Application Management
  - Cluster Application
  - Management Application
  - Other Application
- ▶ Device Management
- ▶ Administration
- ▶ License Management

Cluster Application CUCM ALFA

Cluster: CUCM-ALFA-CLUSTER

Auto Link to Virtual Machine

Virtual Machine: None

Routing ID:

▶ CUCM Service Activation

▶ SIP Trunks

▼ Credentials

<input type="checkbox"/>	Credential type	User ID	Access type
<input type="checkbox"/>	ADMIN	ccmadministrator	Read-Only
<input type="checkbox"/>	PLATFORM	administrator	Read-Only
<input type="checkbox"/>	SNMP_V2		Read-Only

▼ Network Addresses

<input type="checkbox"/>	Network Space	IPv4 Address	IPv6 Address	Hostname	Domain	SRV Address
<input type="checkbox"/>	Service Provider Space	10.48.55.29		CUCM-ALFA	afa.com	false

## 確認

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

UC アプリケーションを確認することは UC アプリケーション CLI で配置モードに、入力します **utils Create レポート プラットフォーム コマンド**をあります。CUCM はレポートを生成します。容易にこの断片によって配置モードを確認するためにレポートを見直して下さい:

```
<ProductDeploymentMode>
<ParamNameText>Deployment Mode for this instance</ParamNameText>
<ParamValue>HCS</ParamValue>
```

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。